

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

■南都銀行グループ(※)は、お客さまの安定的な資産形成に向け、お客さま本位の業務運営を履行するための取組方針を定め、お客さま目線に立った情報提供とコンサルティングの実践に取り組んでいます。

■2018年6月に金融庁より公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づき、2019年3月末基準の数値を公表いたします。
なお、次回は2020年3月末基準を公表し、以後毎年3月末基準の数値を公表してまいります。

※対象となるグループ会社：株式会社南都銀行、南都まほろば証券株式会社

奈良証券株式会社は、2018年10月1日に株式会社南都銀行の連結子会社となり、2019年3月18日に南都まほろば証券株式会社へ商号を変更し、グループとしての営業を開始しております。

「比較可能な共通KPI」の内容

①運用損益別顧客比率

- ・投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別のお客さまの比率を示した指標です。
- ・個々のお客さまが保有している投資信託について、基準日時点の損益状況を見ることができます。

②投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄ごと及び預かり資産残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- ・中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

③投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

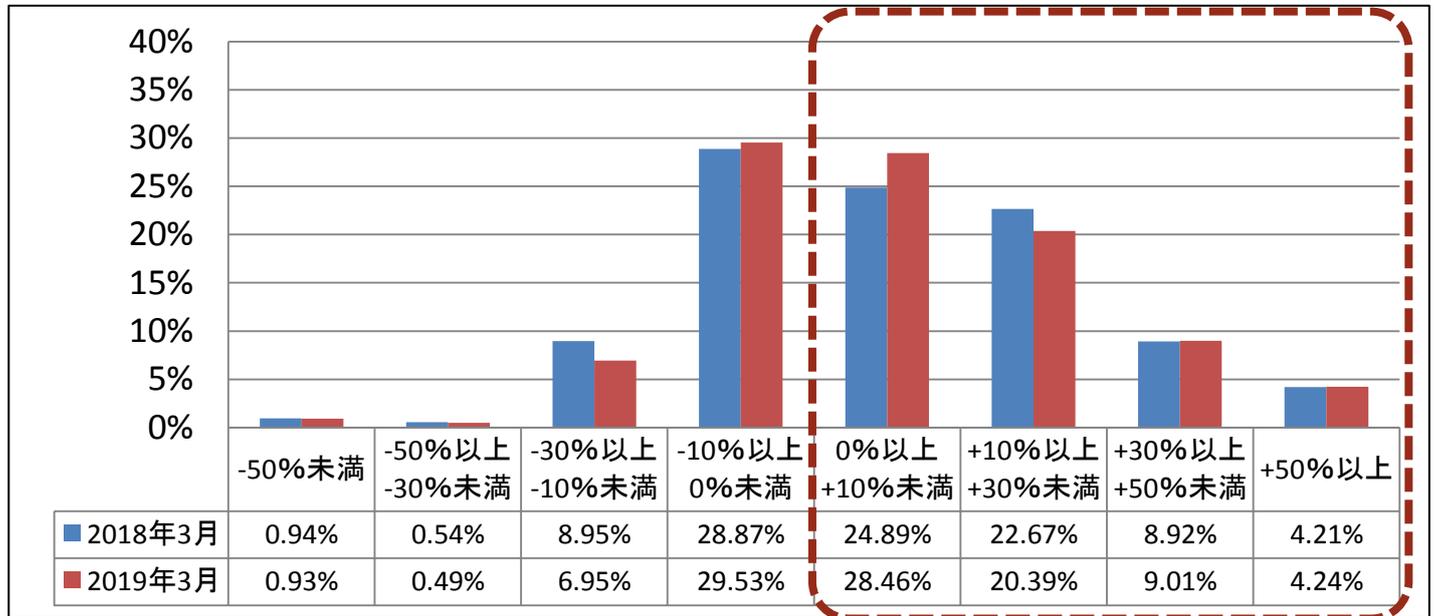
- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄ごと及び預かり資産残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

※各数値は基準日時点の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではないことにご留意ください。

<運用損益別顧客比率>

[南都銀行]

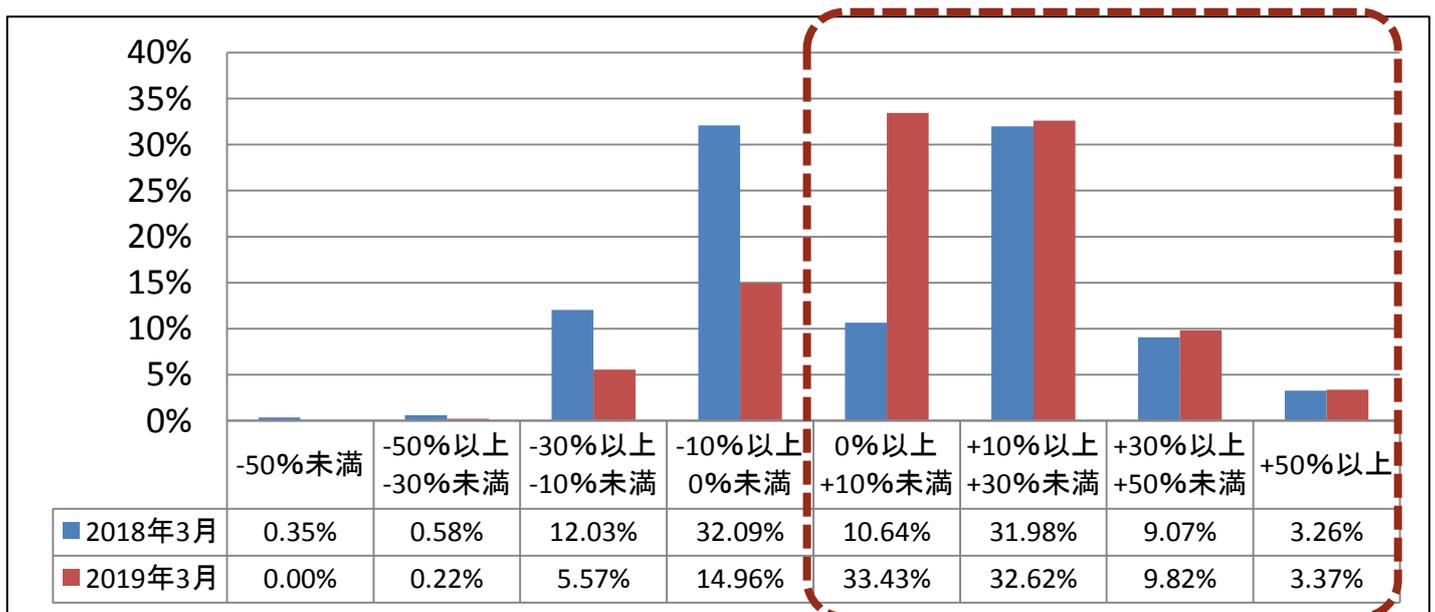
南都銀行における運用損益がプラスのお客さまの割合は、2019年3月末基準で「62.10%」となりました。2018年3月末基準の「60.69%」からは、1.41ポイント増加しています。



<運用損益がプラスの割合> 2018年3月末:60.69%
2019年3月末:62.10%

[南都まほろば証券]

南都まほろば証券における運用損益がプラスのお客さまの割合は、2019年3月末基準で「79.24%」となりました。



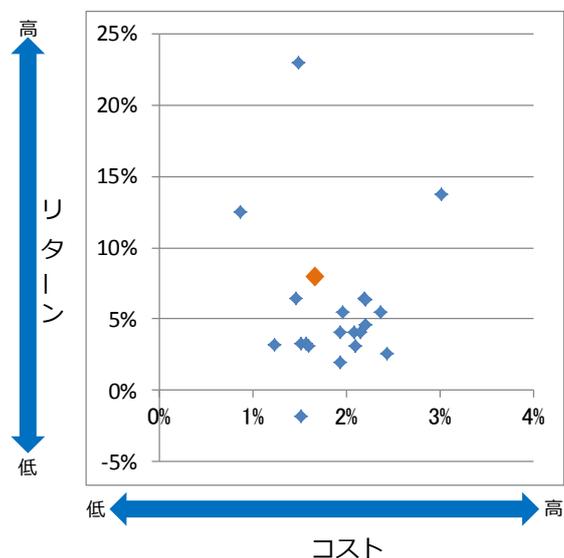
※システムの関係上、2008年11月以降の約定を対象にしております。

<運用損益プラスの割合> 2018年3月末:54.95%
2019年3月末:79.24%

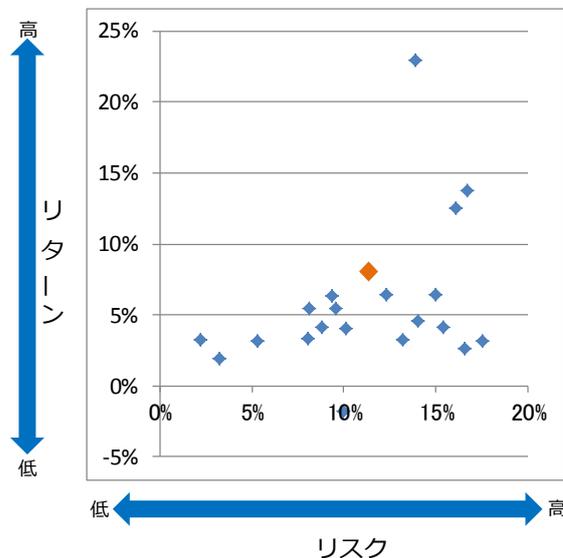
<投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン>

[南都銀行]

【2018年3月末基準】

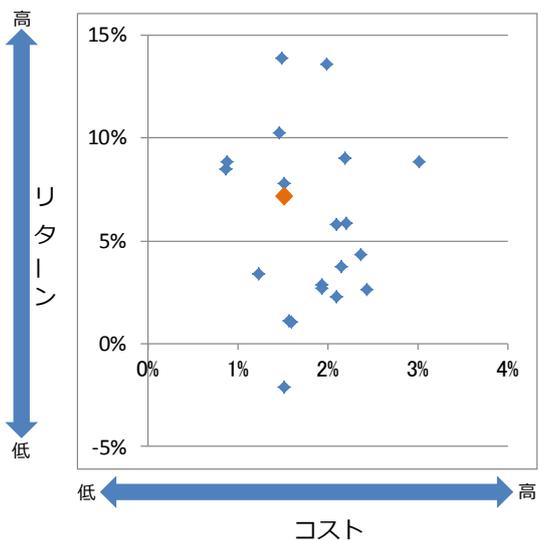


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.74	7.70

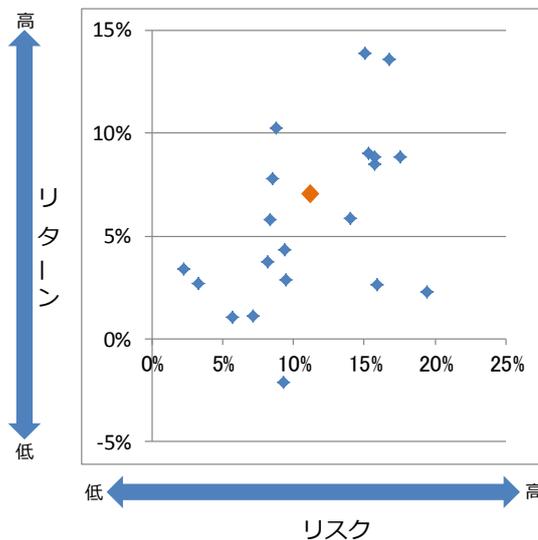


残高加重平均値	リスク	リターン
	12.46	7.70

【2019年3月末基準】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.67	7.18



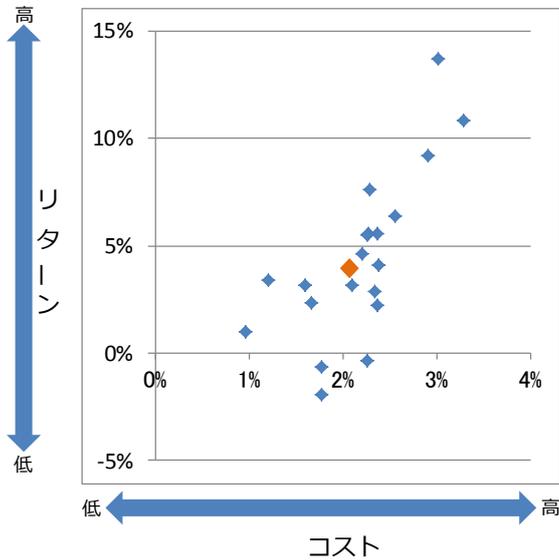
残高加重平均値	リスク	リターン
	12.01	7.18

(※)コスト : 当行販売手数料上限の1/5と信託報酬率の合計値
 リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
 リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

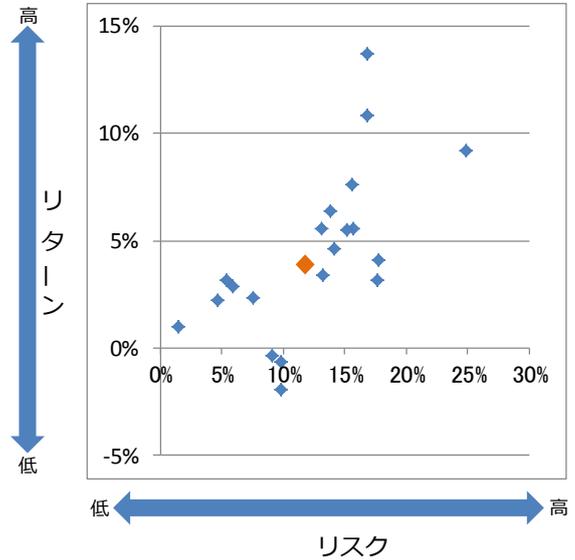
<投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン>

[南都まほろば証券]

【2018年3月末基準】

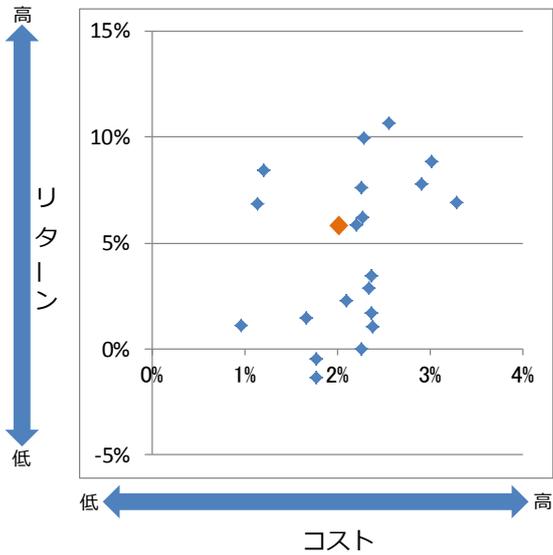


残高加重平均値	コスト	リターン
	2.16	4.31

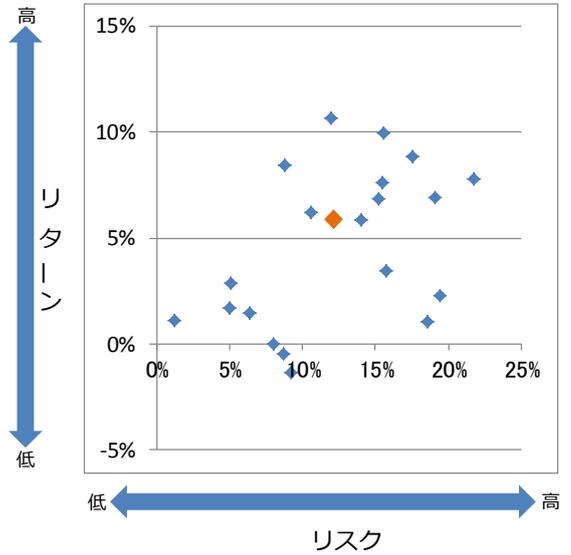


残高加重平均値	リスク	リターン
	13.65	4.31

【2019年3月末基準】



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.14	5.46



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.27	5.46

(※)コスト : 当行販売手数料上限の1/5と信託報酬率の合計値
 リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
 リターン : 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

<投資信託預かり残高上位20銘柄(2019年3月末基準)>

[南都銀行]

南都銀行の2019年3月末基準の残高上位20銘柄のうち、17銘柄でリターンがコストを上回っています。

(単位:%)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ひふみプラス	1.49	15.03	13.87
2	日経225ノーロードオープン	0.86	15.72	8.48
3	ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)	1.51	8.52	7.81
4	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	13.99	5.87
5	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)(愛称:円奏会)	1.23	2.25	3.38
6	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(愛称:ロッキー・カンントリー)	2.44	15.92	2.63
7	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.46	8.81	10.24
8	グローバル3資産ファンド(愛称:ワンプレートランチ)	1.94	9.44	2.88
9	新光US-REITオープン(愛称:ゼウス)	2.19	15.30	8.98
10	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(愛称:夢実現)	1.57	7.16	1.09
11	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(愛称:健次)	3.02	17.56	8.81
12	豪ドル毎月分配型ファンド	1.51	9.33	-2.13
13	GS新成長国債券ファンド(愛称:花ボンド)	2.11	8.34	5.79
14	投資のソムリエ	1.94	3.25	2.70
15	インデックスファンド225	0.89	15.70	8.82
16	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.10	19.39	2.27
17	ジャパン・エクセレント	2.00	16.81	13.57
18	トレンド・アロケーション・オープン	1.60	5.69	1.07
19	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ノーヘッジ型)	2.38	9.38	4.35
20	ニッセイ/バトナム・インカムオープン	2.16	8.14	3.73

[南都まほろば証券]

南都まほろば証券の2019年3月末基準の残高上位20銘柄のうち、14銘柄でリターンがコストを上回っています。

(単位:%)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.29	15.56	9.96
2	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)(愛称:杏の実)	1.78	8.72	-0.46
3	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.37	15.73	3.46
4	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.21	8.76	8.41
5	三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド	2.39	18.60	1.03
6	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.10	19.39	2.27
7	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	1.78	9.20	-1.37
8	アジア好利回りリート・ファンド	2.56	12.00	10.62
9	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ヘッジ型)	2.37	4.99	1.70
10	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	13.99	5.87
11	国際インド債券オープン(毎月決算型)	2.27	10.62	6.18
12	エマージング・ソブリン・オープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	2.34	5.06	2.89
13	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67	6.34	1.49
14	ワールド・リート・セレクション(米国)(愛称:十二絵巻)	2.26	15.46	7.62
15	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.97	1.25	1.11
16	ダイワJPX日経400ファンド	1.14	15.25	6.87
17	HSBCインド株式ファンド(3ヶ月決算型)	2.91	21.74	7.77
18	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(愛称:健次)	3.02	17.56	8.81
19	アメリカン・ドリーム・ファンド	3.29	19.12	6.93
20	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)(愛称:アジオセ定期便)	2.26	7.99	0.01

※設定後5年以上経過している投資信託の残高上位20銘柄を対象とします。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建投信は除きます。